第 26 回（令和 7 年度第 1 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　本石二丁目自治会連合会・本石一丁目自治会
　　代表者　会長　平岡康伸

２　日程等
（１）開催日　令和 7 年 6 月 22 日（日）午前 10 時開会（午前 11 時 30 分閉会）
（２）会　場　婦人児童館
（３）テーマ　本石地区の公共施設の在り方について

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市長　最初に、第２中央生涯活動センターのあり方について説明します。地域の皆さん方が安心して自由に気軽に楽しむということで、繋がる空間、そして活動をする空間として、全ての世代の方たちに使っていただけるものにしていこうと動いています。

全館Ｗｉ－Ｆｉを完備する予定で、予約制だけでなくフリースペースもありますので、ご利用いただきこの中心エリアの核になる施設になっていただけたらありがたいと考えています。

これからの計画でいきますと、当初の３階建の予定から２階建になり、工期の短縮ができまして、今の予定では、令和９年１０月に竣工、そして供用開始予定で進んでいます。

続いて、子育て支援・保健拠点施設についてです。小学生の皆さんも含めてたくさんの愛称の応募をいただいて、「くまキッズ」に決まりました。（仮称）中央保育所という形で荒川、銀座、石原、そして玉井の四つの保育所を一つにさせていただきます。それから学童の（仮称）新石原児童クラブがあり、（仮称）こどもセンターは今回のもう一つの目玉になると思っています。子育てに関する様々な相談と子ども同士でコミュニケーションできる場になります。隣には（仮称）保健センターがあり、ここでは、発育・発達に関する育児相談や健康の相談業務を行います。その手前には、休日・夜間急患診療所も新たにこちらに移動します。今回の建物は、子育て世代に焦点を当て、産前産後や子どもの成長など色々な相談をしっかりとできる環境ということに力を入れた施設になっております。

時間によっては、お子さん子どもだけではなくて、地域の方も使用できる時間帯がありますので、ご相談をいただいたらありがたいと思います。

次に、婦人児童館についてです。この婦人児童館というのは、既にご存知のとおり四つの機能を持ちます。公民館機能、それから貸館機能、児童館機能そして児童クラブ機能です。令和８年４月に子育て支援・保健拠点施設が完成すると、児童館機能、児童クラブ機能、貸館機能の一部を移転、令和９年１０月に第２中央生涯活動センターが完成すると公民館機能、貸館機能の一部を移転、時期は未定ですが、（仮称）石原会館には、公民館機能と貸館機能の一部を移転します。

そして、現計画では、令和１０年以降、婦人児童館は除却を予定しています。

次に、地域会館については、場所と時期はもう少しお時間をいただきたいと思います。利用の利便性をしっかり検討させていただきたいと思っています。

当初の計画は、熊谷市内に七つの生涯活動センター、つまり、大きな公民館を作って、それぞれの地域会館は少しコンパクトにしていこうというものでした。でも、なくしてしまうと、地域の方の心の拠り所もないだろうということで、地域会館という形で、それぞれの地域に整備はさせていただきたいと思います。というのも、地域によっては、自治会が中心のところがあったり、公民館が中心のところがあったり、全てが同じように地域運営ができるわけではありません。地域を守るネットワークの縦糸が自治会だとすれば、公民館活動の役員さん方は横糸で、これをしっかり紡いでいただくことが、それぞれの地域を守っていただくことにつながっていくことと考えています。ある方からは、公園に地域会館を建てて跡地を更地にすればいいのではないかという声もありますが、公園は公園の役割があります。さらに、避難場所としての役割もあります。皆さん方の声をお伺いしながら検討させていただいて進めさせていただきたいと思います。

次に、本石の屋台小屋を婦人児童館の付近の場所に移せないかという話を、今回いただきました。まずはお祭りというのは民間で行っていただくということになりますので、その場所の選定等については、地域の方でまずは検討していただけるとありがたいと思います。やはり、お祭りというのは地域の皆さん方で、それぞれ、神社を通しての事業ということになろうかと思います。屋台小屋の土地はともかく、建設については、ふるさと熊谷の祭り応援基金、集会所等建設費補助事業等、補助金ということでご活用いただけるものがあるということもご理解いただけたらありがたいと思います。

市民　私は本石町の方でお祭りの方に参加させていただいていますが、年間を通しまして、この部屋でお囃子の練習をさせていただいています。この場所がなくなったときの練習場所をどこかに作って欲しいのと、できればここに残して欲しいなっていう気持ちがありまして、もしコンパクトな地域会館をこ

ちらに作っていただけるようなことが可能でしたら、公園の一部に屋台の方の収納、屋台庫を置いていただいて、今ある屋台庫の方を、グラウンドゴルフ場としての使用できるような形に整備していただくような案もちょっとお考えいただけるとありがたいと思います。

市長　お子さんたちの練習について、ここをまずなくすことが前提ではなくて、ちゃんとその部分も確保したことによってここを閉じるという、そういう形で切れ目のないスケジュールはぜひ立てさせていただきたいと思っています。ただ屋台庫については、いろいろとより複雑な部分が他のものよりもありますので、それについては少しお時間をいただきたいと思います。

市民　屋台庫の話について補足します。お祭りのときは屋台庫から出すのにも戻すのにも１７号を通らなければいけません。本石町の屋台は一番大きいので、裏道は通れません。そのため、今回の案を出させていただきました。

　同じくお願いになりますが、祭り関係の若い方のグループと、自治会の皆さん、祭事の皆さんと、意見を交換させていただける町内はなかなかありません。おかげで石原地区、本石地区を愛する子供たちが増えてきました。今年もお囃子会に 59 名入ります。ここで地域の人たちと話ができるおかげで、少なくなっていく子供たちが、この熊谷を好きになってくれるきっかけを作っていける状態になっている。ここがなくなったり、町内の人とお話できる機会がなくなると、そういうのも離れていって熊谷市から人口も減ってく。熊谷のために頑張ろうぜっという子供たちをこれから作っていきたいと思いますので、いろいろ考えていただければと思います。

市長　頭の痛い質問ですね。なぜかというと、それぞれの１２か町が皆さんの知恵を絞って屋台庫を作る。地域の皆さんでまずは土地を見つけていただき、それを屋台庫にするためにどうするかという第２段階として、お金の話があって、これについては補助金であるとか、何らかの形でお手伝いできる部分がありますので、そのように土地についても考えていただけたらありがたいと思います。どこの町区も人が減り、子供が減り、お祭りを運営することが大変厳しい状況になっているということも重々承知はしているところですが、補助金等がありますので、その都度相談はさせていただきたいと思いますので、申し付けてください。

市民　くまキッズができるにあたって、交通安全についての件ですが、周りの道が非常に狭い道になっておりまして、車等の出入りに関しては今どのようにお考えなのか 1 点質問させていただきたい。また、この公民館前の道路についての交通安全について、北大通りからですね、１７号に向かうまでの道の中

で、非常に交通事故が多い区間となっております。検討していただければ非常にありがたいと思っています。

市長　お子さんを亡くした不幸な事故からもう本当にだいぶ経ちましたが、今お話を聞くとそれだけじゃなくて、自転車との接触をはじめ細かいところはたくさんあるとのことですね。今、少しずつですが、地域によってはゾーン３０プラスといってスピード指定をされている道路もできています。そのゾーン３０プラスにすると、元々あった道幅を、オレンジのポールを立てて、道を狭く見せます。そのことによって、スピードを落としてもらうという、そういう仕掛けです。

（維持課）現在、当該道路の一部が小学校の通学路として指定されており、安全対策が必要であると考えられます。しかし、オレンジのポールを設置し車道幅員を狭くすることにより、地域住民の方も通行しづらくなり、また、沿線住民の方の出入りがしにくくなる可能性がありますので、地域で対策の実施の有無をよく話し合っていただき、維持課にご相談ください。

市民　アパートなど個々に居住し始めた外国人の方について、ゴミ出しや、夜間の騒音など日本のルールを守ってもらえないことがあり困っています。超高齢化が進み、自治会としても限界があります。市として対応していただきたいと思います。

市長　まず、外国人が増えている理由としては、労働力の低下により、市内でも欠かせない人材になってきていることがあります。自治会長のなり手不足にも関わりますので、外国人だからというより、地域住民としてどうにかできないだろうかと、もう少し市として研究してみます。